

## ブラジル「アニメ作戦」一斉摘発で 36 の日本アニメ海賊版サイトが閉鎖

2023 年 4 月 20 日

2023 年 2 月から 3 月にかけて、「goyabu.com」、「animeyabu.com」などブラジルにおける日本アニメの複数の悪質な海賊版サイトが CODA 会員の告発によって閉鎖されました。これら海賊版サイトは、権利者から正規の許諾を受けることなく、日本アニメに現地語であるポルトガル語の字幕を付けてインターネット上に公開していました。

ブラジル政府は、2019 年より官民協力による海賊版サイト対策「404 作戦」<sup>1</sup>を継続的に実施し大きな成果を挙げていますが、今回、この作戦の一環として日本アニメに特化した「アニメ作戦(Operation Animes)」<sup>2</sup>と命名された一斉摘発が初めて決行されました。

CODA はこれまで、ブラジルの「Anitube」、中国の「B9GOOD」など、海外で運営されている日本人向け海賊版サイトに対する会員の刑事告訴や CODA の刑事告発を行ってきました。しかし今回対象となったサイトは日本人向けではなくブラジルの現地視聴者向けのサイトであり、このような「海外向け」に特化した海賊版サイトに対して CODA 会員が刑事告発<sup>3</sup>を行い、摘発されたのは今回が初めてです。

2022 年 11 月、東映アニメーション株式会社、東宝株式会社、株式会社バンダイナムコフィルムワークスの 3 社は、ブラジルで日本のアニメを侵害する海賊版サイト 4 サイトについて CODA を通じて刑事告発を行いました。調査の結果、そのうち 2 サイトは同じ運営者により開設されていることが明らかとなったことから、2023 年 2 月 8 日から、3 事件についてそれぞれ家宅捜索他の捜査を実施したところ、これら 4 サイトに加えて、被疑者らが運営していた関連する 9 サイトも併せて計 13 サイトが閉鎖されました。さらに、その後の調査により明らかになった情報を基に、新たに別の 9 サイトの運営者に対するノック&トーク（直接交渉）を実施した結果、これら 9 サイト及びこれらの関連サイト 9 サイトの合計 18 サイトも閉鎖され、CODA の関与の結果閉鎖されたサイトは合計 31 サイトとなりました。

またこれらサイト閉鎖の動きを受け、ブラジル国内の別の 5 の海賊版サイトが自主的に閉鎖され、一連の作戦の結果、これまでにブラジルにおける日本アニメの海賊版サイト 36

---

<sup>1</sup> 2019 年から始まったブラジルにおける官民協力による著作権侵害対策作戦は「404 エラー (page not found)」にちなんで、ブラジル司法省により「404 作戦」(Operation 404)と命名され、これまでの 5 回の作戦により、1,974 件のサイトブロッキング、783 違法アプリの削除、20 州において 128 件の家宅捜索が実施されている。

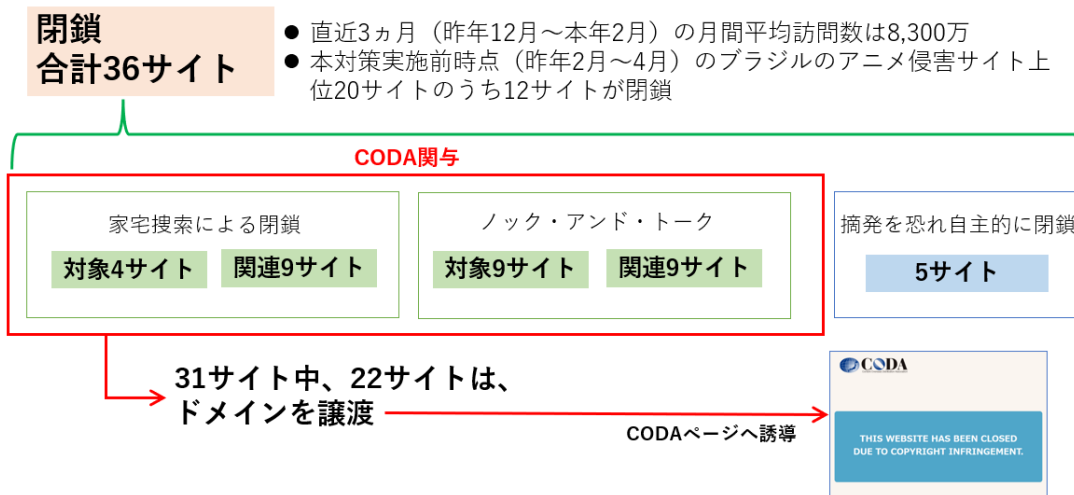
<sup>2</sup> ブラジル司法省による「アニメ作戦」に関するニュースリリース  
<https://www.gov.br/mj/pt-br/assuntos/noticias/operacao-retira-maiores-sites-de-pirataria-em-anime-do-ar> (2023 年 2 月 8 日公開・2 月 13 日更新)

<sup>3</sup> criminal referral; 犯罪が疑われるため被疑者を捜査して欲しいと現地の警察に対し捜査を求めるもの

サイトが閉鎖されました。

これら 36 サイトの直近 3 カ月（2022 年 12 月～2023 年 2 月）の月間平均アクセス数は約 8,300 万に上り、本対策実施前時点（2022 年 2 月～4 月）のブラジルのアニメ侵害サイト上位 20 サイトのうち 12 サイトが閉鎖されたという結果となりました。

さらにこれら 36 サイトのドメインのうち、既に交渉により 22 の譲渡を受けており、現在、これらサイトへのアクセスは、CODA が開設した閉鎖を通知するページへ自動的に誘導されています。残るサイトについても譲渡を受けるべく交渉を継続していきます。



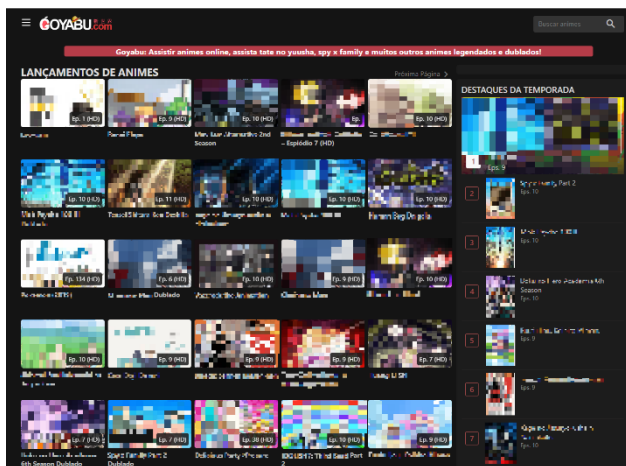
Google における単語の検索トレンドを見るツール「Google Trend」によると、ブラジルでサイトの大量閉鎖が起こった時期の 2023 年 2 月 26 日～3 月 4 日、正規サービスサイトの名称の検索人気が最大値を記録しています。さらに、現地調査会社によると、ブラジルの SNS でも、正規サイトへのトライアルなどに言及する発言も複数確認されており、正規コンテンツ利用の増加傾向がみられます<sup>4</sup>。

デジタル・ネットワークの進展、モバイル情報端末の高機能化により、インターネット上の海賊版の問題は深刻化しています。今回対象となったサイトのうちいくつかは、日本 IP からのアクセスをブロックして日本権利者から侵害が発見されないような措置を行っており、またブラジル国内でポルトガル語によって表示されるサイトの情報を調査することも容易なことではありません。

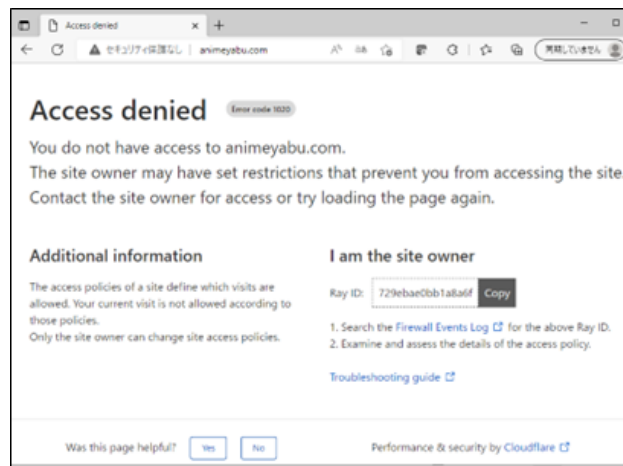
一方、中南米地域において、日本コンテンツの正規ライセンスを受けビジネスを行っている正規配信事業者が、海賊版サイトが蔓延する状況で正規のビジネスを成功させることは困難です。CODA は、日本コンテンツの正規事業者が適切にビジネスを行い、日本コンテンツの正規品を流通させることができる健全な市場の実現を目指し、今後とも海外においても積極的に対策を継続してまいります。

なお、この活動は、経済産業省受託事業の一環として行われました。

<sup>4</sup> 2023 年 1 月～2023 年 3 月 SimilarWeb データ参照



GOYABU トップページ  
(2022年12月確認・一部画像加工)



複数のサイトが日本からのアクセスを制限していた  
(animeyabu.com・2022年7月確認)



閉鎖を通知する CODA のページ



捜索時の様子①



捜索時の様子②



捜索時の様子③